

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月に実施された6年生の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。当調査は、教育施策の成果と課題に関する検証改善、児童生徒に対する教育指導の改善等を行う目的で実施されています。なお、個人票につきましては、すでに6年生に渡してあります。

調査結果については、本校の概要をお知らせします。なお、学校では調査結果で見えてきた課題について検討し、今後の児童の指導へと生かしていきたいと存じます。

調査は、国語と算数の2教科と学習習慣・生活習慣に関して行われました。

分類	問題番号	内容	平均正答率 (%)	
			本校	全校 (公立)
国語	1一	1	49.4	64.7
	1二	B	12.4	26.7
	1三(1)ア	1	51.7	52.8
	1三(1)ウ	1	58.4	72.6
	1三(2)イ	1	84.3	93.1
	1四	1	70.8	79.8
	2一	C	79.8	90.0
	2二	C	58.4	67.4
	2三	1	56.2	62.0
	2四	C	57.3	56.2
	3一(1)	A	67.4	73.6
	3一(2)	A	67.4	74.0
	3二	A	69.7	70.2

分類	問題番号	内容	平均正答率 (%)	
			本校	全校 (公立)
算数	1(1)	C(ii)	88.8	93.5
	1(2)	C(ii)	84.3	88.5
	1(3)	C(ii)	46.1	55.5
	1(4)	A	69.7	80.8
	2(1)	B	58.4	59.8
	2(2)	B	80.9	87.2
	2(3)	B	19.1	24.9
	2(4)	B	11.2	20.8
	3(1)	A	56.2	70.3
	3(2)	A	42.7	56.7
	3(3)	A	57.3	72.4
	3(4)	A	37.1	47.6
	4(1)	C(i)	39.3	46.0
	4(2)	AD	62.9	75.7

### <内容について>

- 1・・・言葉の特徴や使い方に関する事項
- A・・・話すこと・聞くこと
- B・・・書くこと C・・・読むこと

・漢字を文や文章の中で使うことに課題が見られました。文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにするとともに、当該学年で配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うように指導していきます。

・「書くこと」については、相手や目的を明確にして児童自らが推敲する必要性を実感して書くことができる言語活動を設定して、文や文章を整える指導を充実させたいです。

### <領域について>

- A・・・数と計算 B・・・図形
- C(i)・・・測定、(ii)・・・変化と関係
- D・・・データの活用

・「数と計算」に関する問題に課題が見られました。継続して、基礎・基本の確実な定着に取り組み、自分で説明したり、考えを述べたりする活動を意識的に多く取り入れます。

・「図形」については、図形を構成する要素に着目して、意味や性質について理解することが重要です。辺の長さや角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、筋道立てて説明することができるよう指導していきます。

◆学習・生活習慣調査から ・国語、算数の学習に対する意欲は高いです。また、授業で学んだことをほかの学習や普段の生活に生かそうとする意識も高まっています。今回の結果を基に、学習指導上の課題を把握・分析し、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることに尽力していきます。

